

つみあげの上に咲く花 それは美しく尊く真の光を放つ

9月18日(水)～20日(金)まで3日間にわたってテーマ「光」のもと繰り広げられた、「第62回 敷島中学校 年輪祭」は、とても素晴らしく、私たちに大きな感動を与えてくれました。今年は暑い日が続き、取組は厳しいときもたくさんあったと思いますが、全校のみなさんの熱い思いと、工夫と努力によっていくつもの壁を乗り越え、素晴らしい年輪祭ができました。

18日(水)の年輪祭前夜祭では、心をあわせてつくった素晴らしい全校制作の披露がありました。3年4組の岩瀬ほのかさんの原画をもとに、全校生徒で作成、今も体育館のステージを彩ってくれています。また、展示部門に見られる、3年生の修学旅行記をはじめ、1年生の校外学習のレポート、2年生の山梨探訪のパンフレット、文化部のみなさんの作品など、一つ一つの素晴らしい作品には、たくさんの個性や努力が活かされ、ひとりひとりの成長のあかしが感じられます。吹奏楽部の演奏は、本当に見事でした。県大会金賞、西関東大会銀賞を獲得した吹奏楽部は、3年生がリードし、1、2年生とともに頑張り、ひとりひとりの思いが強く感じられるような演奏、楽しい演奏を披露してくれました。19日(木)文化ホールでの文化部門、生徒会本部のオープニングセレモニーやカラフルで力作揃いの各学級旗の披露、文化部の発表などもこれまでの取組の成果が発揮され素晴らしいものでした。また、来年度から採用の新しい制服をまとった生徒会本部役員のオープニングセレモニーは、シナリオが素晴らしくますます期待感が高まっていきました。3つの文化部(美術・英会話・コンピュータ)の発表も今年も本当にレベルの高い、楽しい内容でした。そして、圧巻の数々の合唱・・・、これまでの練習の成果が発揮された素晴らしい学級合唱、学年合唱が続きました。感動の連続でした。20日(金)の体育部門では、残暑厳しいなか、様々な種目に各学級が力を合わせ、真剣に取り組む姿があり、大いに盛り上がりました。仲間を信じ、最後まであきらめずに走り抜ける姿にたくさんの感動をもらいました。

この年輪祭を通して、1、2年生は、先輩が見せてくれた、尊い姿に学びながら共に頑張ってくれました。1年生は、初めての年輪祭だったにも関わらず、とても積極的で意欲的でした。合唱も、競技も、私たちの想像を越えたレベルで、活躍できていて、どのクラスもしっかりとまとまり、よい集団に成長したなと感じました。2年生は、これまでの経験が活かされ、どの場面においても、すっかり安心して任せられるレベルに成長していました。どのクラスも切磋琢磨しながら互いに高いところを目指していて、はつらつとした元気さ、明るさ、熱さ、・・・どれをとっても、これからさらに成長し、敷島中をしっかりと支えられるチームになったなと、嬉しく思いました。学年合唱も本当に素晴らしかった。そして、

3年生、すべての活動の推進力となって活躍してくれました。生徒会本部、実行委員会を中心とする、3年生のみなさんに、感謝と敬意を表します。本当にありがとう。思い通りにならないこともあったと思いますが、あきらめずに、くさらずに、投げ出さずに、我慢して我慢して、前に進もうとする、あなたがたの姿は、本当に素晴らしかったと思います。その後ろ姿を、頑張る姿を1・2年生に見せてくれたこと、かけがえのない宝物を残してくれたと感謝しています。年輪祭の成功は、あなたがたの頑張りがなければ、ありえなかったです。私たちの人生には、「工夫して乗り越えていく」「互いに力を合わせていく」ことが、繰り返し求められるものです。きっと今回の経験も、これからのみなさんの人生にとって、大きな力になることと思います。



敷島中の年輪祭には感動があります。同じクラスや同じチームとして過ごした仲間達と、合唱や競技を通して、心を通わせ、一緒に頑張ったことは、本当に尊いことです。年輪祭の目的、「学校、学年、クラスの絆を深める」という目的の達成に向かって、力を合わせ、みんなの力で見事成し遂げた、敷中生徒を、私は誇りに思います。感動をありがとう。これから、3年生はしっかりと気持ちを切り替えて、受験に向かう意思を固め（本日は1回目の教達検でした）、1・2年生は、自分が目指すべき次の目標に向かって、一段と背筋を伸ばして、うまくなってやる、できるようになってやる、乗り越えてやる、という気持ちを固めていく。短い期間の中で、全員が大きく、健やかに成長した姿を見ることができた年輪祭となりました。

“つみあげの上に咲く花 それは美しく尊く 真の光を放つ”

最後になりましたが、保護者の皆様方には3日間、早朝からたくさんの参観をありがとうございました。保護者の皆様方に応援いただき、生徒たちも励みになったことと思います。また、たくさんの温かい応援メッセージや感想も本当にありがとうございました。

<生徒の感想>

☆私が一番頑張ったことは学級合唱の「怪獣のバラード」の伴奏でした。とても速くてすごい難しい伴奏は初めてだったので、途中あきらめそうになったときもあったけど最後まであきらめずにたくさん練習をして頑張りました。また、体育祭で仲間と協力し合うことの大切さがわかりました。これからある合唱祭や学校生活でこの経験をいかして、仲間と協力して頑張っていきたいと思います。（1年3組 小馬由愛さん）

☆むかでははじめは全然前に進まなく、うまくできなかったけど、みんなでよく話し合い、一致団結することができ、1位になれました。みんなが声を出したり、すぐに行動に移したり、一人一人がやらなきゃと気持ちが出てきてがんばることができました。（1年4組 林紅葉さん）

☆今回の年輪祭で、みんなが自分に対して細かいところまで見てくれ、頼りにしてくれたことがわかりうれしかったです。またクラスみんなの普段は見られないような頑張る表情や行動を見ることができ、この2年1組の仲間だったからこそ、ここまで頑張れたと思いました。ぶつかることもあったけど団結するきっかけになったのでよかったです。（2年1組 稲垣光弥さん）

☆緊張したけれど思い切りうたうことができた。学級合唱もみんな心がひとつになった気がしました。体育部門では、むかで1位、長縄1位は本当に感動しました。練習はたいへんなときもあったけれど、みんなと頑張れてよかったと思えました。（2年4組 乙黒苺香さん）

☆自分ができことに全力で取り組み、仲間と協力して中学校生活最後の年輪祭を成功させることができました。年輪祭を通して得たクラスの絆や目標に向かって努力する姿勢を今後の日常生活、そして受験にいかしていきたいと思います。そして、日常生活でもプラスの声かけなど居心地のよいクラスにできるよう、自分にできることを頑張っていきたいと思います。（3年2組 志賀歩乃加さん）

☆「全力で楽しんで成功させる」私自身の目標でしたどの競技でも練習の時によりよい結果が残せるように全力でやろうという気持ちが高まっていきました。年輪祭でつくりあげた団結力を合唱祭や受験などにいかしていきたいと思います。ぶつかることはあってもそこを乗り越えていくことが今回はできたので、これからも私たちは乗り越えていけると思います。（3年5組 矢崎心さん）

<保護者の方からの応援メッセージより 多数の温かい素晴らしいメッセージありがとうございました>

☆みなさんの合唱に感動し、心が震えました。学年合唱見事でした。1年生はじめての学年合唱、頑張りましたね。2年生の合唱、洗練されていて引き込まれました。3年生、「流浪の民」本当に素敵な演奏でした。感動を超えた感動をもらいました。素晴らしい時間をありがとうございました。

☆暑い中、お疲れ様でした。生徒たちが頑張っていて練習してきたことがよくわかりました。一番力が入ったのはリレーで、先生方も必死で一緒に走ったり、アドバイスしたりで気持ちがこもっていました。悔しくて泣いている生徒も、頑張ったからこそその涙で感動しました。先生方も毎日遅くまでありがとうございました。感謝しています。

☆最後の年輪祭、末っ子なのでもう年輪祭に来ることがないと思うと寂しい気持ちでいっぱいです。すべての種目に1年生から3年生まで全力で取り組んでいることが伝わってきました。みんな一人一人が輝いていました。そして、全校ソーランの迫力満点で魂の入った熱い演技には感動して涙がでてしまいました。暑さもありましたが、無事に終わったこと、先生方のお陰だと思います。ありがとうございました。